【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和1年6月27日(2019.6.27)

【公開番号】特開2017-185769(P2017-185769A)
【公開日】平成29年10月12日(2017.10.12)
【年通号数】公開・登録公報2017-039
【出願番号】特願2016-145016(P2016-145016)
【国際特許分類】
Ｂ２９Ｃ　45/30　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２９Ｃ　45/30

【手続補正書】
【提出日】令和1年5月22日(2019.5.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
自動車部品分野では、ポリプロピレンを単体で用いるほか、ポリプロピレンにエチレン－プロピレン共重合体（ＥＰＲ）、エチレン－ブテン共重合体（ＥＢＲ）、エチレン－オクテン共重合体（ＥＯＲ）、スチレン－ブタジエン共重合体（ＳＢＲ）、ポリスチレン－エチレン/ブテン－ポリスチレントリブロック共重合体（ＳＥＢＳ）等のゴム成分を添加して衝撃性を改善した材料（例えば、特許文献１）、タルク、マイカ、ガラス繊維等の無機充填材を添加し、剛性を改善した材料、ゴム成分、無機充填材を添加し優れた機械物性を付与したブレンドポリマーが使用されている（例えば、特許文献２）。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
エチレン・α－オレフィン共重合体を構成するα－オレフィンとしては、炭素原子数３～１０のα－オレフィンが好ましく、その具体例としては、プロピレン、１－ブテン、１－ヘキセン、１－オクテン等が挙げられる。エチレン・α－オレフィン共重合体のメルトフローレート（ＭＦＲ）は、好ましくは０.５ｇ／１０分以上１０ｇ／１０分未満、より好ましくは１.５ｇ／１０分以上１０ｇ／１０分未満である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
エチレン・α－オレフィン・ジエン共重合体を構成するα－オレフィンとしては、炭素原子数３～１０のα－オレフィンが好ましく、その具体例としては、プロピレン、１－ブテン、１－ヘキセン、１－オクテン等が挙げられる。また、ジエンの具体例としては、５－エチリデン－２－ノルボルネン、５－プロピリデン－２－ノルボルネン、ジシクロペンタジエン、５－ビニル－２－ノルボルネン等が挙げられる。エチレン・α－オレフィン・

ジエン共重合体のメルトフローレート（ＭＦＲ）は、好ましくは０．４ｇ／１０分未満、より好ましくは０．０５ｇ／１０分以上０．３５ｇ／１０分以下である。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
以上説明した樹脂組成物は、各樹脂成分および必要に応じて用いられる添加剤を、例えばバンバリーミキサー、単軸押出機、２軸押出機、高速２軸押出機等の混合装置により混合または溶融混練して得ることができる。